

美点凝視

第 13 号
H23. 11
狭山台小学校
学校だより

読書をしましょう

秋が深まり、木々の葉も色づいてきました。さわやかな天候に恵まれ、何をするにも心地よい季節となりました。

子どもたちは元気に学習やスポーツに取り組んでいます。

さて、今月の目標は、「たくさん本を読む。」です。十月二十七日から十一月九日まで、読書週間です。多くの本を読み、その

中から、子どもたち一人一人の興味や関心が高まる本に出合えると素晴らしいと思います。

お話朝会でこんな話をしました。

『大学時代に「鳥葬の国」という本を読みました。この本は、京都大学の学術調査隊がチベットという国の生活や文化を調査した時の様子をまとめたものです。とても面白く、本を読み進めるうちに、調査隊の様子やその土地の様子が目に浮かぶようでした。』

明日から六年生は修学旅行です。今年は日光方面から箱根・鎌倉方面に旅行先を変えました。

明日から修学旅行

自分もこんな経験をしてみたいと思うようになり、準備を進めて、インド、パキスタン、中国の国境地帯にあるチベット文化圏のある村で六カ月調査をしました。とても素晴らしい経験になりました。皆さんも一冊の本との出会いが、後の生活に大きな影響を与えることがあるかも知れません。素敵な本との出会いをしてください。』

A.L.T.のアチャ先生が給食の時間にこんな話をしてくれました。
「五年生のあるクラスの英語活動が終わった時、数人の女の子が集まってきて、ウオーター、ハウスと言いながら何かを伝えようと一生懸命に語りかけてくれました。」

木村先生に何を伝えているのか聞いてもらうと、タイの洪水について心配し、平気かどうか聞きたかったようです。」

アチャ先生と木村先生は、五年生の子どもたちのやさしい心遣いが嬉しく、泣いてしまったそうです。

アチャ先生はタイの出身で、バンコックにある家は一階が浸水しているということです。

ニュースを見て、アチャ先生のことを思い出し、心配していることを一生懸命に知っている単語で伝えようとした五年生をとても素晴らしいと思います。

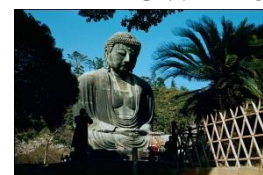
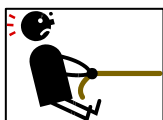
優しい心遣いのできる狭山台小学校の子どもが増えていると実感できる出来事でした。

綱引き大会に向けて

十一月十三日の「綱引き大会」に向けて練習が始まりました。二十九日の土曜日には、おやじの会の皆さんがホンダの綱引きサークルから伝授された練習を子どもたちに伝えてくれました。

引く力ばかりでなく、引く姿勢が勝敗を分けるということがよく分かりました。

狭山台地区の小・中・成人の部、それぞれの健闘を祈ります。



先生方にとっても、初めての修学旅行先ということもあり、六年生担任とけやき学級担任、そして私が下見に行ってきました。特に、今年は初日にグループ行動を取り入れ、子どもたちの自主的・主体的な活動に任せる時間を設定しました。グループ行動では、みんなが協力して、仲良く、そして一人一人が責任を持った行動をすることが大切です。

六年生は、やさしく、友達を大切にする子どもたちばかりです。狭山台小学校の最上級生として、これまでも素晴らしい活躍してくれました。その集大成として、みんなが楽しかったと言えるような有意義な修学旅行にしてほしいと願っています。

自分もこんな経験をしてみたいと思うようになり、準備を進めて、インド、パキスタン、中国の国境地帯にあるチベット文化圏のある村で六カ月調査をしました。とても素晴らしい経験になりました。皆さんも一冊の本との出会いが、後の生活に大きな影響を与えることがあるかも知れません。素敵な本との出会いをしてください。』

